

バス停からのにぎわい創出

【十勝バス株式会社（帯広市）】

会社概要

設 立	大正15年	従業員	270名
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 一般乗合旅客自動車運送事業（乗合 108車両） 一般貸切旅客自動車運送事業（貸切 22車両） 一般乗用旅客自動車運送事業（ハイヤー 6車両） 介護事業、飲食事業ほか 		
U R L	https://www.tokachibus.jp		



- 路線バスや空港への連絡バス、都市間高速バス等の運営事業者。
- バス車両の一部を小売店舗に改造した**マルシェバス**の運行やスマホアプリで予約可能な**オンデマンドバス**の導入などにより、**新たな収入源の確保と地域住民の利便性向上**に積極的に取り組んできた。
- この取組が全国で唯一、日本自動車会議所などが主催する「**クルマ・社会・パートナーシップ大賞**」の**最高賞**に選出。

コロナ等の影響

- 外出自粛等による利用者の減少
- 慢性的な人員不足に加え、運転手のコロナ感染影響による減便

新たな取り組み

- 中心部から遠く高齢化率の高い大空地区において、バス停に近い焼き肉店の店舗内に、バスの待合のほか、様々なサービスの提供や機能を有する「**にぎわいターミナル**」を実証的に設置。
- バスの利用者だけでなく、地域の人々が集うコミュニティ施設として、にぎわいを創出し、**地域を活性化する施設に進化**。

にぎわいターミナル



1. 「バスの待合室」としての機能

施設内にコンシェルジュ（十勝バス社員）を常駐させ、バスの運行状況や乗車案内のほか、お店など各地域の様々な情報を提供し、バスの利用促進を図る。



2. 「コミュニティ施設」としての機能

不在時の荷物預かりのほか、地域住民がいつでも集える場所を無料ドリンク付きで提供。



3. 「健康を確認できる場所」としての機能

血圧計などの医療機器を設置し、利用者自身が健康状態を確認できるほか、医療機関との連携により、オンラインによる予約制の健康相談が可能。



今後の展開

- 実証事業の効果検証を踏まえ、今後、実装化を検討。
- 帯広地方卸売市場と買受人契約を締結し、市場等から直接仕入れた生鮮食料品を施設内で販売する**物販事業**も収益源としていく見込み。